

令和6年6月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質 問 者	日程
1	20	小澤 実	17日 (月)
2	16	鈴木 一	
3	17	塩谷 寿雄	
4	5	梅沢 道男	
5	10	吉田 光利	
6	4	目黒 哲也	
7	11	塩川 裕紀	
8	1	黒岩 揺光	18日 (火)
9	9	勝又 貞夫	
10	3	大平 剛	
11	19	桑原 圭美	
12	8	永井 拓三	
13	6	田中 せつ子	
14	15	中沢 一博	19日 (水)
15	7	中沢 道夫	
16	13	佐藤 剛	
17	18	牧野 晶	
18	2	川辺 きのい	
19	14	寺口 友彦	
計		19名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

質問 順位	質問 内 容
1	1 地方公務員の兼職及び副業について
議席	(1) 我が市の職員の現状は。
20	(2) 労働人口減少により、今市内で求められている職種は。
小 澤 実	(3) 今後の対応は。
	2 防災士資格取得の助成について 消防団員の減少、分団活動の制約により自然災害、消火活動に支障が出ないうちに地域ぐるみの自主防災組織の強化を図ることが必要と考える。防災意識と経験豊富な分団長経験者に防災士の資格取得の助成ができないか伺う。
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
2	1 人口・世帯数減地域の防犯について
議席	
16	最近、一軒家での一人暮らしのお年寄りが、強盗に襲われたという報道が何件かあった。今後人口減少等で空き家や高齢世帯、お年寄りの一人暮らしが増えてくる。全国的に非常に憂慮されるが、一人暮らしのお年寄り、高齢世帯の防犯にどう取り組むか伺う。
鈴木	
木	2 地域の河川公園について グリーンシーズンになると、休前日はテントを張り、バーベキューをする県外者が多い。特に夏場は地元の人たちや旅館のお客さんの入る余地がないほどである。食材、飲み物は持ってきて、無料で水道やトイレは使い放題、ごみは市で処理している。
一	(1) 登川の二つの河川公園の維持管理費は。 (2) 河川公園が市にもたらすメリットは。
	3 大型建築物等の設計について 地元で設計できる物件には規模が限られるのは理解している。コンサルが携わる施設については、特に地元の声がかからないと聞く。地元業者とJVを組むことによって、地域の設計事務所を育成することが必要と考えるが、大型構造物は大手設計事務所に全て任せるのか考えを伺う。
(二問一答方式)	

質 問 順 位	質 問 内 容
3	中学校の部活動について (1) 部活動の地域移行について、市の認識、今後の進め方や考え方を問う。 (2) 部活動での市が保有するバスの使い方の見直しについて考えを問う。
議 席	
1 7	
塩 谷 寿 雄 	

質問 順位	質問 内 容
4	1 市職員及び病院事業職員に対するハラスメント対策の推進を
議 席	
5	(1) 市では、ハラスメント防止指針に続き、令和5年に行政対象暴力対応マニュアルを作成するなど、カスタマーハラスメント対策を進めてきたが、市におけるカスハラの実状と対策について伺う。
梅 沢 道 男 (一問一答方式)	(2) 近年、病院職場におけるペイシェントハラスメントも大きな問題となり、県では新潟県病院局ペイシェントハラスメント対策指針を策定し対応を進めているが、市の病院事業におけるペイハラの実状と対策について伺う。
	2 中学校運動部の地域移行に向けた取組状況と方針等について
	(1) 令和8年度から中学校の休日の部活動を地域クラブへ移行する計画だが、指導方針の統一等も含め、民間スポーツ団体との調整の進捗状況について伺う。
	(2) 現在の部活動は、教員のボランティア的な取組で支えられている。地域移行により、民間スポーツ団体によるボランティア的な取組に移行するだけでは問題は解決しないと思うが、どのような対策を考えているのか。 (3) 地域クラブへの移行後は、受益者負担が原則となるが、そのために生徒の運動の機会が奪われてしまうことがないように、どのような対策を考えているのか。
	3 中学校体育館の建設には観客席つき体育館の検討を 今後の統廃合等に伴う中学校体育館の建設には、学校体育活動と地域クラブ活動、さらには誘致大会等が開催可能な観客席つきの総合体育館的な性格も兼ね備えた体育館の建設を検討すべきと思うが、考えを伺う。

質 問 順 位	質 問 内 容
6	1 下水道事業の活性化について
議 席	(1) 少子化の影響で子ども用紙おむつの利用量は減る一方で、大人用紙おむつは増えていることから、ごみとして出される紙おむつの全体の量は、今後増加することが見込まれる。当市では、使用済紙おむつの分離装置を利用した実証実験を令和2年11月と令和3年1月に実施した。 使用済紙おむつの下水道への受入れを図っていくべきと考えるが。
4	(2) ディスポーザーの設置は、ごみの減量化、ごみ出し労力やごみ収集作業の軽減、ごみ処理場の負担軽減などのメリットを考えると、積極的に普及促進を図っていくべきと考えるが。
目	(3) 個人設置の浄化槽の維持管理等は、個人の負担が大きい。そこで、国の少人数高齢者世帯に対する維持管理負担軽減事業に申請をしたらどうか。
黒	2 地域経済の活性化について
哲	(1) ガンダムマンホールプロジェクトは、地方自治体と協力し、国内の活性化を図るものであるが、ガンダムマンホールを活用した活性化の計画はあるのか。
也	(2) 物価高騰が続く深刻な状況である今こそ、少額随意契約の限度額の見直しを国に要請し、行政の事務負担の軽減と地域経済の活性化を図るべきと考えるが。
(二問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
7	高齢者の移動手段の確保について
議 席	
1 1	
塩 川 裕 紀 （一問一答方式）	全国的に高齢化が進む中、地域の食料品店の閉店による買い物難民対策、通院等の移動手段の確保は、市でも喫緊の課題となっている。そこで、市内公共交通の現状と今後の市長の考えを伺う。 （１）現在運行している栃窪・岩之下でのデマンド交通の現状と成果は。 （２）一般ドライバーが自家用車などを使って有償で客を運ぶライドシェアが条件つきで始まる。これに先駆けて、公共交通が不便な地域で 2006 年に導入された過疎地ライドシェアが広がりをみせている。市でも有効な手段と考えるが、市長の考えは。

質問 順位	質 問 内 容
8	1 11月の市長選に出馬すべきではないか
議席	
1	水道料金 1,000 円値下げ。子どもの学力向上。企業誘致。民間目線で無駄を省く。女性の活躍の場の推進等、市長は多くの公約を掲げたが、未達成だと思えるものが多い。このまま3期目に挑戦しないのは、無責任と考えるが、市長の所見を伺う。
黒 岩 揺 光	2 市の元幹部職員が有罪判決を受けたことについて (1) 勤務時間中に庁舎内で部下の女性職員にキスや胸を揉む等のわいせつな行為を繰り返したとして、不同意わいせつ罪などで市の元幹部職員が有罪判決を受けた。市長は、この件について、行政の運営上のミスなどではないという見解を述べたが、私は、組織上の問題があったと思う。他の自治体では職員の大きな不祥事があった際、首長が監督責任を取り、自らの給与を減額するための条例改正案を提出するケースがあるが、市長も責任を取るべきではないか。 (2) 今回の事件の刑が確定したら、市の懲戒処分の指針や公開基準の見直しを検討するとのことだったが、進捗状況を伺う。
(一問一答方式)	3 過去10年で著しく低下した市内の子どもの学力について 市長は「学力向上に向けた取組を進める」という公約を掲げたが、残念ながら、市長に就任してから、市内の子どもたちの学力は著しく低下した。平成28年度、全国学力調査で、市内の中学3年生の国語・数学はいずれも全国平均と同等のスコアだった。しかし、令和5年度、中学3年生の全国平均が国語69点、数学51点に対し、当市では国語60点、数学38点だった。どうすれば、公約を達成できると考えるか。

質問 順位	質問 内 容
9	1 公共施設の防犯カメラ設置について 防犯カメラの設置については、一般質問で繰り返し提案してきた。いまだに学校・保育園・公共施設・スポーツ施設などには設置されていない所が多い。今後の防犯カメラ設置について問う。
議席	
9	
勝	
又	
貞	
夫	
	2 公用車のドライブレコーダー取り付けについて 公用車にドライブレコーダーを取り付けるべきと繰り返し提案をしてきた。通学・通園用のバスのみならず、全ての公用車に取り付けるべきと考えるが、現状と今後の考え方について問う。
	3 原発防災の知識の普及と啓発について 柏崎刈羽原発では、再稼働に向けた準備が進められている。万一事故が発生した時には、市も当然その影響を受けることになる。市の地域防災計画の原子力災害対策編には、原子力防災に関する知識の普及と啓発という項目が設けられている。市民に災害の事前対策を十分周知しているか問う。
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
11	子ども・若者相談支援センターの学習支援状況について
議席	
19	
桑原圭美	多様化する社会環境の中で、子ども・若者支援が社会にとって重要課題になっている。 市では、子ども・若者相談支援センターを設置し、生きづらさを感じている子ども・若者たちの支援を行ってきたが、これまで手薄であった子どもの学習支援にも、ようやく力を注ぐ体制になった。 勉強に支障が生じ、学校に行きづらくなる傾向が多いといわれている。 子ども・若者相談支援センターの学習支援により、不登校気味の生徒のために高校進学の後押しをすることは、子ども・若者支援の重要な部分だと考える。 (1) 学習支援員を、元教員以外からも採用する考えはあるか。 (2) スタディルームを利用し、高校に進学した生徒はどのくらいいるか。 (3) スタディルームの実施状況を鑑み、回数や時間を増やす考えはあるか。 (4) 学校と家庭の要望や相談内容を、どのように子ども・若者相談支援センターで活かしていくのか。
(二問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
13	1 結婚の希望をかなえる支援の拡充について
議席	
6	
田 中 せ つ 子	2023 年の合計特殊出生率が過去最低、出生数も過去最少、婚姻数は戦後最少と衝撃の報道があった。市では合併後 20 年で出生数が約半減している。晩婚化と未婚化が少子化原因の一つと言われている今、思い切った支援強化が早急に必要と考える。 (1) 昨年度の婚活・交流イベントの開催実績と、今年度目標 6 回達成への取組状況は。 (2) 南魚沼市結婚活動支援補助金は、効果的な広報が実施され利用実績が上がっているか。 (3) 県の縁結び応援プロジェクトの地域の世話焼き人やハートマッチにいがたのサポーターを増やす取組で近隣市町村との連携を深めるべきではないか。 2 地域防災力としての消防団活動の支援について 安全・安心な地域づくりに、地域の消防団は大きく貢献している。しかし、急激な人口減少と高齢化により消防団員は、令和元年度から令和 5 年度は 414 人も減少し、さらに今年度は 1 年で 106 人の減だ。消防団員の減少は地域防災力の衰退に直結する大問題であり、市の対策が重要と考える。 (1) この数年間で消防団活動の負担軽減と処遇改善は進んだがその効果をどう評価するか。 (2) 新入団員確保を地域任せにせず、市がパンフレットや動画等を活用し推進してはどうか。 (3) 地域防災力強化のために防災士資格取得助成金の導入に取り組むべきではないか。
(一問一答方式)	

質 問 順 位	質 問 内 容
17	1 将来を見通した市のインフラ整備・維持のために (1) 県と市の一括で雪みち計画、除雪計画の作成をすべきではないか。 (2) 働き手不足、技術者不足になる社会動向であるので、市内建設会社に高度な技術職員の配置を促すために建設会社の合併を誘導する施策をすべきではないか。 (3) 全国的にバス等の運転手不足によりバス路線の廃止、減便などの傾向にあると思う。市内のバス会社やタクシー会社等も厳しい状況にあると思う。運転手を確保するために施策や支援が必要だと考えるが。 2 市の合計特殊出生率を毎年計算すべき 市独自で毎年の合計特殊出生率を計算していないようだが、これをする事は社会動向、市の施策の有効性などを分析するために大切なことではないか。
議席	
18	
牧 野 晶	
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
18	1 住民の生きるを支え続けるための地域医療の充実について
議席	(1) 令和5年度第2回魚沼圏域地域医療構想調整会議で病院事業管理者は「大和地域における病床過剰という意識は全くない」「本来45床全てが必要な病床」と発言したが、今も認識に変わりはないか。
2	(2) 第8次新潟県地域保健医療計画では、高齢者の受け皿が必要とし、魚沼医療圏域の基準病床数を引き上げた。ゆきぐに大和病院の存続も含め、病床数の在り方を再検討すべきではないか。
川	(3) 医師の働き方改革と地域医療の充実はどちらも実現させなければならない。そのためには、国・県の責任で医師を派遣する制度が必要だと考えるが。
辺	2 住民の生きるを支え続けるための介護の充実について
き	(1) 市は、介護人材確保の独自努力をしているが、介護の需要に応えられていない。国は訪問介護報酬引き下げを行ったが、人材確保には処遇改善が欠かせない。報酬を元に戻し、引き上げることを国に求めるべきではないか。
の	(2) 現在国では、利用料の負担増、要介護1・2の保険はずしなど、利用者、事業者ともに負担となる介護保険制度の改悪が検討されているが、市長としての認識を伺う。
い	(3) 介護施設の整備や職員の処遇改善は、多くの市民の願いであるが介護保険料の引き上げにつながる。介護保険料は、制度の開始時に比べて2倍となった。介護保険制度はこうした矛盾に直面しており、抜本的見直しが必要だ。解決のためには、国庫負担の引き上げが必要ではないか。それを国に求めることも含め、市長の認識を伺う。
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
19	1 災害関連死認定審査会設置に関する条例について
議席	
14	災害関連死認定審査会設置に関する条例を急ぎつくるべきではないか。
寺 口 友 彦	2 ふるさと納税を観光の誘客戦略に使うことについて
	ふるさと納税者を南魚沼市ふるさと応援隊として市に迎えるための戦略をつくるべきではないか。
	3 令和8年度からの総合計画基本計画と財政計画について
	ふるさと納税果実分を第3次財政計画にどう反映させるのか。また、第3次総合計画策定に合わせた新財政計画を立てるのか。
(二問一答方式)	4 学区再編等検討委員会の答申を受けての今後の対応について
	令和6年3月8日の学区再編等検討委員会答申を受けて、市長の今後の対応についてを伺う。